

第2回個別面談結果概要について

平成25年7月10日現在

1. 対象者および面談方法

項目	内容
面談対象者	①土地区画整理事業区域内に被災した土地を所有している方及び居住していた方 ②離半島部から中心部の高台住宅へ移転を希望される方 ③その他中心部防災集団移転促進事業の対象となる方
面談方法	個別面談（会場での面談、電話での意向確認等）
面談実施期間	①平成25年3月29日（金）～5月26日（日） （仙台会場5月14日（火）～5月22日（水）） ②平成25年6月5日（水）～6月10日（月）（フォローアップ面談） （①の期間に面談を受けられなかった方が対象）

2. 面談出席状況

【第1回個別面談結果】（H24.7月～11月） 図1参照

項目	居住者	土地のみ所有者	合計
面談対象者	1,691	829	2,520
面談実施者	1,535	709	2,244
実施率	90.8%	85.5%	89.0%

※離半島からの移転希望者は含まない。

※共有の土地所有については、代表の方のみ対象者としている。

【第2回個別面談結果】 図2参照

項目	居住者	離半島からの移転希望者	土地のみ所有者	合計
面談対象者	1,693	183	863	2,739
面談実施者	1,640	180	591	2,411
実施率	96.9%	98.4%	68.5%	88.0%

※共有の土地所有については、共有者全員を対象者としている。

3. 移転希望先

■ 自立再建希望世帯	1回目 315世帯 → 2回目 251世帯	64世帯減
■ 災害公営住宅希望世帯	1回目 570世帯 → 2回目 782世帯	212世帯増
■ 現地再建等世帯	1回目 142世帯 → 2回目 88世帯	54世帯減
■ 町内に居住したいが、自立再建か災害公営住宅か検討中の世帯	24世帯	
■ 町外移転世帯	1回目 281世帯 → 2回目 675世帯	394世帯増

図1【第1回個別面談移転先希望】
1,691世帯

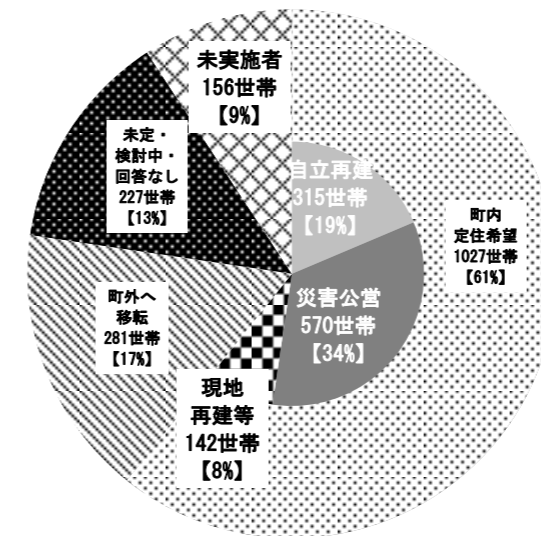
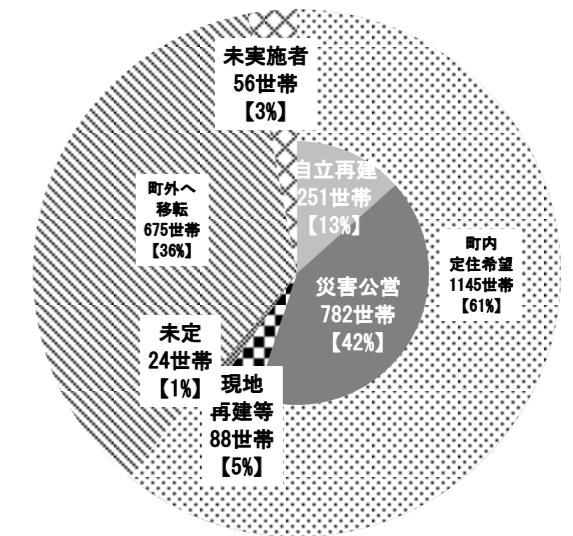


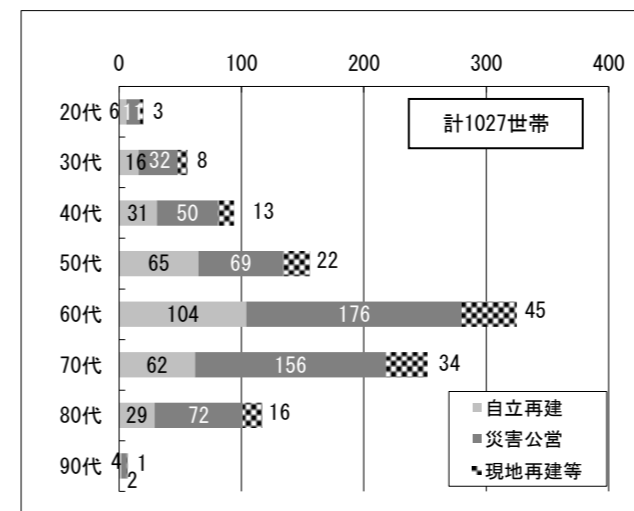
図2【第2回個別面談移転先希望】
1,876世帯（1,693世帯+183世帯）



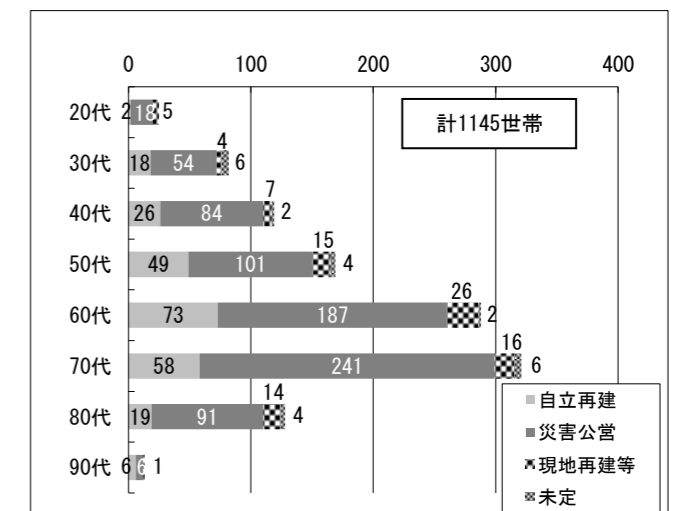
4. 中心部居住希望者の世帯主年齢構成

- 中心部居住希望世帯の総数は、1,145世帯
- 中心部居住希望世帯で、世帯主が60代、70代の世帯が過半数を占めている。（53%）
- ほとんどの年代において、自立再建希望者が減少し、災害公営住宅希望者が増加している。

【第1回中心部居住希望者世帯主年齢構成】



【第2回中心部居住希望者世帯主年齢構成】



5. 移転希望先集計結果（平成25年7月10日現在）

(1)住宅団地希望

①自立再建希望

移転希望場所	計画戸数 A	希望戸数	
		戸数 B	倍率 B/A
清水・日蔵	30	8	0.27
多目的運動場	65	9	0.14
運動場西	15	7	0.47
ずい道	40	8	0.20
女川	80	60	0.75
堀切山	30	35	1.17
荒立西	40	44	1.10
荒立東	20	14	0.70
内山	40	15	0.38
小乗浜	40	7	0.18
宮ヶ崎	90	18	0.20
旭が丘	30	20	0.67
未定	—	6	—
合計	520	251	0.48

■自立再建希望者数は、1回目の個別面談結果では、315世帯であり、今回は、251世帯で、64世帯減少している。

<減少した主な理由等>

- ・土地売却後は町外で居住したい。
- ・当初は自立再建を希望したが、時間が経って気持ちが変わった。
- ・高齢であり、土地売却後の自立再建は考えていない。
- ・将来は女川町で自立再建したいが、今は考えられない。
- ・子供や孫が戻ってこないで、家を建てる予定ない。
- ・女川町で自立再建したいが、復興に時間がかかっており、待てられない。

②災害公営住宅入居希望

移転希望場所	計画戸数 A	希望戸数 B	倍率 B/A
清水・日蔵	40	20	0.50
陸上競技場跡地	200	281	1.41
運動場西	35	12	0.34
女川駅北	220	136	0.62
荒立・大道	50	148	2.96
西区	110	52	0.47
小乗浜	20	11	0.55
宮ヶ崎	100	78	0.78
石浜	20	24	1.20
未定	—	20	—
合計	795	782	0.98

■災害公営住宅入居希望者数は、1回目個別面談結果では、570世帯であり、今回782世帯で、212世帯増加している。

<増加した主な理由等>

- ・高齢で体が不自由のため災害公営住宅への入居を希望する。
- ・災害公営住宅に入居し、その後、自立再建するかどうか検討する。
- ・仮設住宅は辛いので、早くできる災害公営住宅に入りたい。
- ・現在の仮設で親しい人達と一緒に災害公営住宅に入居できることを希望する。
- ・夫婦二人暮らしなので、災害公営住宅でよい。
- ・現在、石巻の仮設に入居中であり、早く女川町の災害公営住宅に戻りたい。

(2)住宅団地を希望しない

区 分	第1回個別面談 A (件)	第2回個別面談 B (件)	増 減 B-A (件)
1. 現地再建等	142	88	-54
2. 町外へ転出	281	675	394
合 計	423	763	340

<参考> A'エリアの土地所有者、BCエリアの居宅地所有者の想定換地面積は、14ha。

6. 今後の対応

- ・個別面談結果をふまえ、自立再建、災害公営住宅、換地を含めた住宅配置計画を検証し、必要に応じて住宅配置計画の部分見直しを検討する。
- ・個別面談未実施者の方に対し、引き続き、電話面談等を行い、意向を確認する。
- ・登記名義人が既に死亡している土地については、相続人調査を行い、相続人に土地利用の意向を確認する。
- ・行政区ごとに説明会を開催し、国及び町独自の住宅再建に関する支援制度について周知し、**10月末を期限**に自立再建への変更希望を受付する。